



## あいちの学童保育

県連協ニュースNo. 1号  
 2018年6月13日発行  
 愛知学童保育連絡協議会  
 TEL:052-872-1972 FAX:052-308-3324  
 Email:aichigakudou@gakudou.biz  
 http://gakudou.me/aichikenrenkyou/

# 第49回愛知県連協総会

5月27日(日)13:00～、東別院会館で第49回定期総会を行いました。当日は参加者81人、23人の来賓があり、会場は満員となりました。

来賓、メッセージを頂いた方は以下の通りです(敬称略)。

### 【衆議院議員】

熊田裕通、近藤昭一、もとむら伸子、吉田統彦、田畑つよし、松田功、杉本和巳

酒井やすゆき秘書、藤川政人秘書、斎藤嘉隆秘書、古川元久秘書、山尾志桜里秘書、池田佳隆秘書、岡本充功秘書

〈メッセージ酒井やすゆき、里見隆治、藤川政人、斎藤嘉隆、江崎てつま、重徳和彦、今枝宗一郎、根本幸典、古川元久、近藤昭一、山尾志桜里、せき健一郎、伊藤渉、八木哲也、岡本充功〉



### 【県議会議員】

伊藤勝人(自民党団長)、谷口ともみ(新政あいち幹事長)、わしの恵子(共産党団長)、つついたかや(県政自民クラブ)、森井もとし(新政あいち)

〈メッセージ高橋正子(新政あいち)、田中寅彦、渡海克明(公明党)、柴田高伸、安井伸治〉



【関係団体】愛知保育団体連絡協議会、よかネットあいち、認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク、NPO法人学童保育指導員協会 〈メッセージ建交労愛知学童保育支部〉

第1部ではスライドを使いながら総会議事を進めました。休憩をはさみ、第2部ではコマ技披露、式典、議員の方々との意見交流を行いました。



コマ技披露では名古屋市の指導員、子どもが登場し、次々披露されるコマの技に歓声があがりました。議員、参加者も飛び入りでコマに挑戦、和気あいあいと伝統遊びに興じました。



初めての取り組みもありましたが、いかがでしたでしょうか。

来賓の方々も例年より長く総会に参加して頂き、短い時間でしたが、参加者からの質問に対しての考え



を聴く場もつくることができました。



来年度、愛知県連協はいよいよ第50回の節目を迎えます。さらに多くの仲間と記念総会を祝えるように、2018年度も知恵と力を出し合い、学童保育の発展につなげましょう！



## 〈新会長あいさつ〉

会長の江坂佳代子です。2018年度もよろしくお願いいたします。

第49回定期総会は多くの会員の皆さんが結集し、活気に満ちた会となりました。ありがとうございました。

私たちは、所属する市町村ごとの多様な施策を背負って県連協に集まっています。そして、県連協だから出来ること、県連協でしか出来ないことのためにみんなで奮闘しているわけです。今年度も、市町村での取り組みを具体的に交流しながら、愛知全体をよくしていくための展望を語り合い、学童保育運動を進めていきましょう。



今年度の愛知県連協の最大の運動課題は愛知県の予算増額です。現状で全く足りていない学童保育所を新設、分割するための「施設整備費」が国補助金額の半分しか出ていません。不足分は市町村が自腹を切ることになるので、自ずと施設整備のスピードが鈍ったり、何とか安く上げられる改修にしたり、ということになります。71人以上の大規模学童保育所が全く減らないのも施設にお金をかけないからです。今は公設の学童保育所しか該当しない補助金ですが、対象となる運営主体は確実に広がっています。民営学童保育の未来図を描きながら、自分たちの課題に引き寄せて、多くの会員の理解を得るよう取り組みましょう。

そして、この予算増額を実現させるためにどう動くか、は総会でも議論になった点です。今年度は県議会議員懇談を中軸に据え、議会で学童保育への理解を深めてもらう、そして県行政への予算増額要望を後押ししてもらう、という方針を進めます。言うまでもなく、県連協の会員が皆、要望の意義を理解し周りの市民にそのことを伝え、広げて行くことが一番大きな力になります。「請願署名」というスタイルを取らなくても、学童保育運動の基本はそこにあります。横に繋げてきた運動が、「子育て支援が国の重要施策」となったことによって、縦の繋がりに伸びていこうとしているときです。子どもが安心できる生活と成長発達を保障する学童保育をこれからもっと強く、広く発展させるために、みんなで力を尽くしましょう。